

第28回 CAOS21の会 アンケートご回答書

1) 今回のコースに参加されましたか？

1日目 11名 安藤眼科医院
(松田本院/小田原クリニック)

2日目 11名 札幌かとう眼科

3日目 11名 講演会

2) 3月9日 安藤眼科医院 (足柄上郡松田町/小田原市): 施設・手術見学/検討会/

懇親会のご感想をお聞かせください。

(A) 施設見学

<input type="checkbox"/> 大変良かった	9名
<input type="checkbox"/> 良かった	2名
<input type="checkbox"/> 普通	0名
<input type="checkbox"/> あまり良くなかった	0名

(B) 手術見学

<input type="checkbox"/> 大変良かった	10名
<input type="checkbox"/> 良かった	1名
<input type="checkbox"/> 普通	0名
<input type="checkbox"/> あまり良くなかった	0名

(C) 検討会

<input type="checkbox"/> 大変良かった	9名
<input type="checkbox"/> 良かった	1名
<input type="checkbox"/> 普通	0名
<input type="checkbox"/> あまり良くなかった	0名

(D) 懇親会

<input type="checkbox"/> 大変良かった	8名
<input type="checkbox"/> 良かった	2名
<input type="checkbox"/> 普通	0名
<input type="checkbox"/> あまり良くなかった	0名

第28回 CAOS21の会 アンケートご回答書

【ご意見】

良かった点

カタリスを用いたCatOpeの流れを3人の術者が見事にこなしているのが良かった。

展代先生がお元な勇姿はすごすぎる。目標にしたい。

昼食の「心五季」は本当にすばらしいお料理だった。

事務長加藤さんといろいろ話ができて良かった。

フェムトセカンドレーザーの手術がみるこができたこと。

安藤展代先生の全くかわらない手術がみれたこと。

3つの診療所の連携がみれたこと。

3施設の器械のおき方、間どりなどの工夫がためになった。

本院の電子カルテの利用の仕方をいねいにきけたこと。

FLACSの手術をみるこができたこと、SMILEをはじめてみた。何より4人のDrが互いに信頼しあいながら、

たのしうに自信をもって仕事をしていらっしやる姿勢が勉強になりました。

常にPtのために最善を尽くすという考えが先生方のお人柄からくるもので本当に感心しました。

カタリス、多焦点レンズ、SMILEを拝見でき、新しい松田分院と小田原本院をお忙しい中、見学させて頂きありがとうございました。

何よりカタリス導入に向けてのシミュレーションとイメージトレーニングが出来たこと。

FLACSをしている先生方と意見交換できたこと。

浩先生の講演と手術検討会も非常にためになりました。展代先生の大活躍やっばりスゴイ！

検討会からの参加で残念でした。ビデオだけでしたが3人の先生のチームワークはすばらしいと思いました。

外来案内の手ぎわが良かった、Drが電子カルテについて良く説明してくれた。

松田本院は、検査室と診察室が待合室の両側にある。そのため中待合室を別に作る必要がない。省スペースになっている

FLACSはやはりCataysが良いのを実感した。創はナイフで作るのが良いと再確認した。

精力的にopeをこなす安藤展代先生、カタリスを冷静に分析する安藤浩先生

フェムトセカンドレーザーについて良くわかりました、後継問題もうまくいっているのですね。

カタリスの特徴がよくわかった。

FLACSのタイムロス軽減する取り組みがみられたこと。

気付いた点及び問題点

特になし、夕食はいま一つ・・・

同じテーマで比較するのはとてもよいと思いました。

先生方の準備の大変さを思い、感謝でいっぱいです。親切なスタッフのみな様に充分お礼が言えず申し訳ありません。

3つの病院をどうやって動かしているのか、うかがいたかったです。

カタリス、フェムト後のI/Aは、曲がりチップが楽だと思いました。

安藤眼科さんがお配りしているはずの器具・薬剤一覧など、入っていなかったように思いますが・・・

ベッドを振り、患者さんの頭部を移動するだけで顕微鏡下とPhaco-I/Aが出来るようになれば効率的になる。

SMILEがみれなくて残念、SMILEのように希少性の高いopeは全員がみれるように配慮がほしかったです。

第28回 CAOS21の会 アンケートご回答書

3) 3月10日 札幌かとう眼科(札幌市):手術見学/検討会/懇親会のご感想をお聞かせください。

(A) 手術見学

<input type="checkbox"/> 大変良かった	11名
<input type="checkbox"/> 良かった	0名
<input type="checkbox"/> 普通	0名
<input type="checkbox"/> あまり良くなかった	0名

(B) 検討会

<input type="checkbox"/> 大変良かった	6名
<input type="checkbox"/> 良かった	4名
<input type="checkbox"/> 普通	1名
<input type="checkbox"/> あまり良くなかった	0名

(C) 懇親会

<input type="checkbox"/> 大変良かった	8名
<input type="checkbox"/> 良かった	2名
<input type="checkbox"/> 普通	0名
<input type="checkbox"/> あまり良くなかった	0名

【ご意見】

良かった点

LenSxについてよくわかった。手術の流れがすばらしかった。

2つのフェムトセカンドレーザーのちがいについてよくわかったこと。

加藤先生のパワフルな診療について知ることができたこと。

新しい手術FLACSを勉強させてもらったこと。

もし導入するならどうしたら導入できるか検討できたこと。

AMOのLenSxでないと導入できないか、それでも院内の改装が必要か、懸垂式顕微鏡のかいかえが

優先することがわかった。(今後の課題)

FLACS、LenSx、の使用方法が大変よくわかりましたし、とても勉強になりました。

加藤先生は大変素晴らしい術者であり経営者であることに感服しました。LenSxにはOraとVerionがセットであり、

緊急硝子体手術が多い当院ではセッティングが大変なのでは?と思いました。

第28回 CAOS21の会 アンケートご回答書

施設、レンゼックスも素晴らしいが、ライブに母親の両眼白内障手術をもってくる加藤先生のメンタルの強さが印象的だった。

又、手術中にレンゼックスがフリーズした時も、シャットダウンして再起動をスタッフに指示、ニコットとして「時々おこります」

と申され、何事もなかったように手術を完遂されたのには2度驚いた。コンピューターによる技術革新が進んでも、

やっぱり最後は人だなと思わされる一幕であった。

乱視ゼロを目指しておられるのか？との質問をさせて戴いた。レンゼックスによるレーザー角膜減張切開をされていたからだ。

多焦点レンズも乱視に対応できるものが再び使用できる環境になってきたが、1D未満の乱視もコントロールした方が

良い裸眼視力が得られるのか、興味はある。患者のレーザーフェイコ施行によるメリットを考えた時、現時点では

レーザーフェイコが人間の手による手術を凌駕できるのは正確な乱視のコントロールではないかと思う。

私見だが眼光学的に乱視0になったとしても、脳の視覚中枢には乱視を補正するプログラムがあるはずなので、

過剰にやりすぎるとよくないのではと思っている。どのくらい残すのか、多焦点を入れても尚、乱視の存在による

明視域伸長はどのくらい活かせるのか？時間があればもっと突っ込んだ議論が出来たのではと思う。

術者が術中に説明してくれたのが良かった。懇親会も検討会主体で良かった。

加藤先生の抜群のエネルギーと集中力に脱帽。さらに上を目指す発言に驚嘆。

あれだけ精力的に仕事をすると短期間に2分院も出せるのだということが良くわかりました。

加藤先生のopeをゆっくり見学できた。

CatalysとLenSxの違いが大変よくわかった。LRIもできるのか！

予定が押した際、パーティ会場でつづきをやってくれたことがすばしかったです！！ ←みほさんありがとう！

気付いた点及び問題点

時間が押ししてしまったのが残念、検討会と懇親会の間に30分くらい部屋にチャックインして休む時間があると良い。

夕食は大変美味しかった。

両眼同時手術についてももう少し議論があってもよかったかと思いました。

充分学ばせてもらいました。いつもながらジャメックスの皆様には心から感謝しています。夜はだいぶ疲れてしまいました。

手術室の清潔度が充分でないと思いました。両眼同時手術は右・左で器具も変えるべきで全症例同じチューブで

変えていなかったのが気になりました。今の時代には合わないし、変えるべきでは？

FLACS自体まだ発展途上であり、やはり術式として未完成だと思います。ただ他の施設との差別化、広告には有用で

導入には考えるところです。LenSxにはOra+Verionが必要で一体いくらになるのでしょうか？Verionは外来にも

機器置かないといけないですね。

外来について面積、使用機器数、スタッフ数、1日外来患者数、Dr.あたり1日患者数、平均待ち時間、スタッフ残業時間、

その他いろいろな指標を各眼科ごとに表にまとめて欲しい。聞いてもすぐに忘れてしまうので

FLACSで創口を作ると透明角膜のやや瞳孔よりに作られるため、角膜浮腫が強くなるし、自己閉鎖にも時間がかかっていた。

千歳空港→札幌への移動はメンバーがバラバラになってしまった。できれば指定席or貸切バス等が望ましい。

第28回 CAOS21の会 アンケートご回答書

4) 3月11日 講演会のご感想をお聞かせください。

(A) 細川保の講演会

- | | |
|------------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> 大変良かった | 9名 |
| <input type="checkbox"/> 良かった | 0名 |
| <input type="checkbox"/> 普通 | 0名 |
| <input type="checkbox"/> あまり良くなかった | 0名 |

(B) 楊浩勇先生の講演会

- | | |
|------------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> 大変良かった | 8名 |
| <input type="checkbox"/> 良かった | 0名 |
| <input type="checkbox"/> 普通 | 0名 |
| <input type="checkbox"/> あまり良くなかった | 0名 |

【ご意見】

良かった点

細川さんの講演は、IOL初期の歴史がよくわかり大変すばらしかった。

楊先生の講演は、まさにこれから考えなければならない点を解説してくれて、本当にためになった。

3Beesのシステムは、是非検討したい。

昼のジンギスカンは、とても美味だった。(前回よりもおいしかった)

細川さんの言ったとおりに時代がかわっているのにあらためて感動しました。

細川社長の話、大変ためになりました。FLACSの導入まよっていましたが、どのような形になるかわかりませんがどこかで必ず導入したいと思いました。

楊先生の話、大変役立ちました。私が今後の医院のマネジメントが必要と思っていた調度よい時の話でした。

昨年電子カルテ導入、今後マネジメントに入りたいと思って一人で試行錯誤していたが解決する目途がみえうれしいです。

2題ともタイムリーなお話でした、ありがとうございます。

細川社長ただ一言尊敬いたします。

楊先生マネジメントシステムは合理的であり特に予約システムの構築が重要であると感じました。

細川社長が如何に白内障手術機器の日本への導入、発展に寄与されてこられたのかが窺い知れる内容であった。

永田誠先生が顕微鏡眼科手術の父とすれば、陰で支えた母のような存在だと思う。物量で勝る米国から先見の目をもって、

あの手この手で日本に持ち込まれ、足で多大なる導入実績を積み上げられた細川社長は、日本の近代眼科発展の

功労者のお一人として若いドクターは記憶しておいて良いと思った。

大変興味深い内容だった。良き医療は良き収支からだと思うが、楊先生が開発された経営分析プログラムは、

明日からの診療に即実践可能な内容であった。様々なデータをお示しいただいたが、印象に残った一つは過去10年で

既に65歳以下の人口が10%減少しているという事実。既に小児科、産科の先生方は身を以て人口減少を体感されて

おられると思うが、遠くない将来、明日は我が身を覚悟すべし。であるからこそ説得力を持って経営の効率化、

見える化ソフトの導入提案は素晴らしいと思った。

第28回 CAOS21の会 アンケートご回答書

プロフェッショナルの講演が聞けて良かった。

外来検査部門でどのような検査機器を使用し人件費をどのくらいかければペイするか等、検討会をして欲しい。

細川社長の経歴のすばらしさを知り、感動しました。眼科手術の今後の動向にも適確な希望を示された。

楊先生の話しを聞き、まずdataを集計して現状を知ることが第一歩と理解できた。小生に経営能力がないのは、dataを見ることが出来ないからだとな得した。

ECCE → ICCE → planed ECCE → PEA とすべてを経験してきた私にとってとても感慨深い講演でした。

すべてに細川社長がかかわってきたということにも感銘をうけました。

楊先生は今後の対策、困っていることの解決策に答えてくれた、本当に良い面白い講演でした。

各々、他では聞けない内容で興味深かった。

1991年卒業の私にとって、ECCE → PEA の過渡期に眼科医になれて大変ラッキーだったと思いました。

経営の基本が非常にわかりやすかった。Data baseの重要性がよくわかった。

気付いた点及び問題点

既存の電子カルテとの接続は？

紹介状の多い病院で上手くいくのでしょうか？

5) 今後どのようなテーマをご希望されますか？ 具体的にご意見をお聞かせ下さい。

【ご意見】

高島西眼科 5年で1000件→3500件(内1500件多焦点)この秘密を知りたい。

硝子体(竹内先生のクリニック)、緑内障手術、涙道(宮崎千歌先生のいるHP)+眼瞼下垂のいずれかをやっている施設。

病院院長としての労務管理、方針決定、体力管理、経営などの話

医師雇用の条件、管理、報酬など

病院継承の仕方(法律、経済、方法)など

緑内障の管理と手術(新しい検査機器、点眼指導、Ptの説明法、手術)

新しい大橋眼科の見学

時代的にはAIでしょうか？当院も一部導入しています。

来年ツカザキ訪問とうかがっていますので、テーマでしょうか？

当院も次世代が参加させていただきたいと思います。

多焦点眼内レンズを多く行っている施設でどのように挿入する最適なタイプを決めていてその結果はどうか。

MIGS、i-Stent、360スーチャートラベクトミー、各術式等の手技と結果 ←熊本の佐藤智樹先生

難症例白内障手術&逢着 ←井上眼科病院 徳田先生

Vitrectomy 内視鏡涙道手術

電子カルテ連携が不十分と思う、残念・・・